

平成 28 年 3 月 30 日

## 「活力あふれる『ビンテージ・ソサエティ』の実現に向けて」 (研究会報告書)をとりまとめました

経済産業省は、昨年 10 月に「活力あふれる『ビンテージ・ソサエティ』の実現に向けた取組に係る研究会」を立ち上げ、検討を重ね、今般報告書を取りまとめました。

本報告書では、今後目指すべき社会を「ビンテージ・ソサエティ」(高齢者が多世代に緩やかに交わりながら、「社会の負担」になるのではなく、むしろ「社会の力」となっている社会)とし、その実現に向けた取組に関する提言を行っています。

### 1. 報告書の概要

本報告書では、急速に高齢化が進展する中、望ましい社会のあり方として、「多様性」「自立」「つながり」を鍵とした「ビンテージ・ソサエティ」を定義し、さまざまな場面で見られ始めた萌芽事例を抽出するとともに、その定着・拡充に向けて求められる 3 つの変革(①社会通念・意識、②働き方、③産業創出・振興)を提示しています。

その上で、これらの変革を促すための今後の取組(「能力やスキルの因数分解・意味転換」や「人生 90 年・100 年」を前提としたライフデザインの考え方等)について提言を行っています。

### 2. 研究会委員 (50 音順、敬称略)

秋山 弘子	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授 ※座長
赤池 学	株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所 所長
大内 尉義	国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長
久保 律子	NPO 法人シニア SOHO 普及サロン三鷹 代表
野田 稔	明治大学大学院グローバルビジネス研究科教授、社会人材学舎塾長
廣瀬 通孝	東京大学大学院 教授
古田 秘馬	株式会社 UMARI 代表取締役
村田 裕之	村田アソシエイツ株式会社代表／東北大学特任教授

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務情報政策局医療・福祉機器産業室長 土屋

担当者: 医療・福祉機器産業室 向野

サービス政策課 村山、鈴木

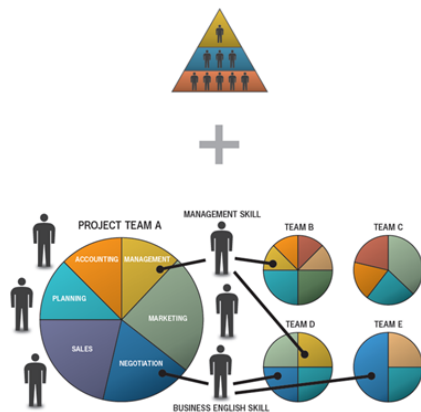
電話:03-3501-1511 (内線 4021)

03-3580-3922 (直通)

03-3501-6613(FAX)

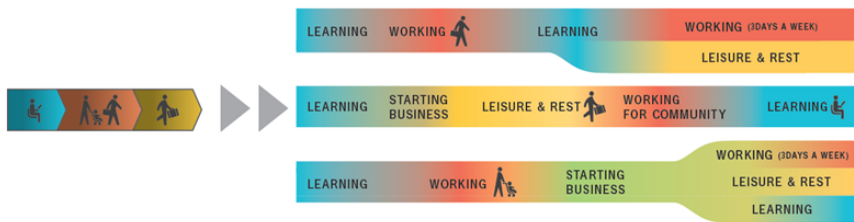
【参考:本報告書で提言する3つの変革】

社会通念・意識の変革を進める取組：△ + ○



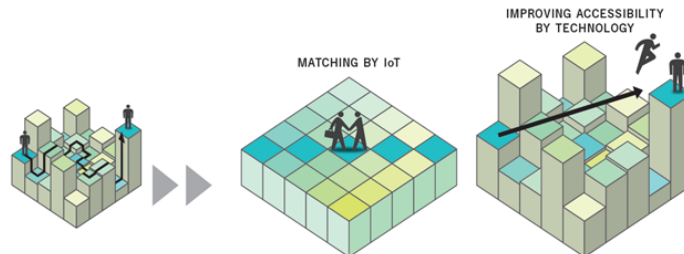
- 特定の組織の中ではヒエラルキー型（△型）構造をベースに本業の職務を全う。
- 加えて、個々人の生活では、「働く」「学ぶ」「遊ぶ」「休む」を組み合わせたライフスタイル（○型）を意識。
- 個人の能力・スキルを因数分解・意味転換し、「年齢」や「肩書き」に囚われず、社会との様々な関わり方を実現。

働き方の変革を進める取組：ライフデザインの複層化



- 人生90年・100年を念頭に、現役時代からセカンドライフを意識した複層的な働き方、社会参画。
- 「働く」「学ぶ」「遊ぶ」「休む」の最適バランスを実現し、セカンドライフほど多様な働き方を選択できるような人生設計。

産業のあり方：「地域」「IoT／技術」「アクセシビリティ」



- 個人の経験・スキルを人材不足の地域で活用し、地域活性化に貢献。
- IoTを活用し、最適な就労機会マッチングを実現。  
⇒ 「IoT推進ラボ」等で「ピンチージ・ベンチャー」と地域の課題のマッチング。
- 各種技術の活用により、モビリティの確保や情報へのアクセス、就労・社会参画機会の創出等の「アクセシビリティ」を拡充。